

アコモード タイムズ



編集・発行
社会福祉法人アコモード
特別養護老人ホームアコモード
在宅介護支援センター
(専用TEL0471-89-0294)
デイサービスセンター
千葉県我孫子市布佐1559-2
TEL(0471)89-5201・81-6666

第9号



前日夕方の天気予報は曇時々雨。なんとか回復してほしいと願いつつ床につきました。当日早朝、外に出るとなんと快晴。信じられませんでした。

4月4日、デイサービスで千葉県立房総のむらにお花見に行きました。介護保険後、利用者が急増し、昨年の成田山へのバスハイクでは総勢47名だったのが、記録更新し総勢66名の一歩となりました。

桜の開花状況も、天気ともに最高でした。桜だけではなく、江戸時代の町並や農家、きれいな菜の花畑、見学に疲れたら一休のできる峠の茶屋まであり、色々楽しむことができました。

ただひとつ残念だったのはあまりにも大勢の参加者だつたため、車両への乗り換えや駐車場からの移動等、利用者、家族の方に負担をかけすぎてしまつたことです。困つてゐる時、暖かい心で助けて下さった大勢のボランティアの方々、現地の職員の方々に深く感謝しています。

お
花
見

インタビュー（開設当初からの入居者）



諸町 峯子

隣りの家に遊びに行く事はありましたが集団生活には戸惑いがあり、慣れるのにとても苦労しました。食生活にも以前は偏りがありましたが、現在は計算された献立で体のリズムもとれています。

何よりも信頼できる職員に出会え、安心して生活が送れる事を喜ばしく思っています。

佐藤 しつ江

年々職員達が工夫をこらして催し物を考えてくれるので楽しみです。特に納涼祭での神輿は思い出すと涙が出てしります。今年も盛大に行われるのでしょうかね。

岡見 あさ



秋山 はな



名前を覚えるのが大変ですが大勢の人と賑やかな毎日を送っています。職員達からパワーを貰い若返ります。

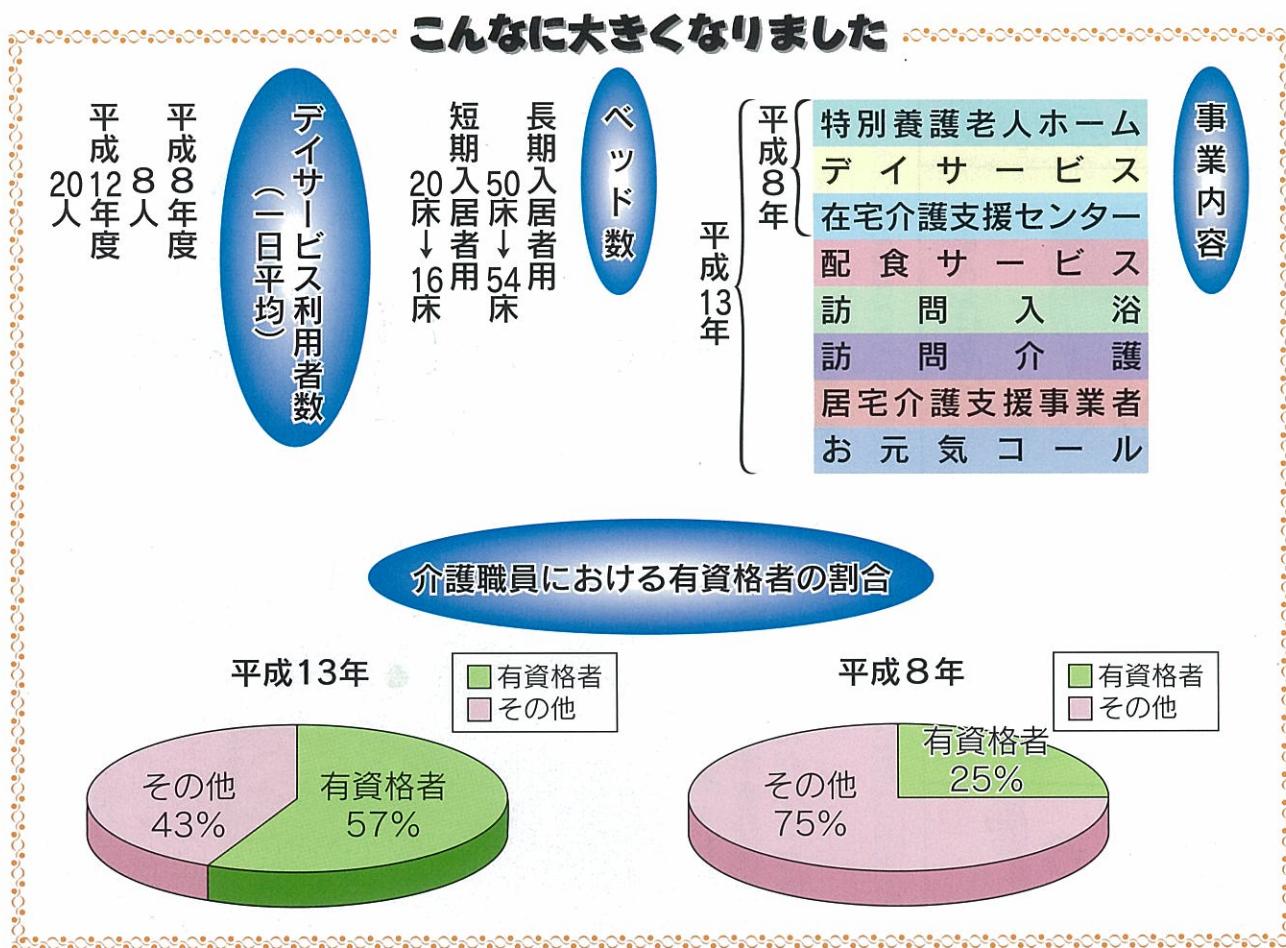
開設当初のスタッフ一言

アコモードが創設され早5年が経ちました。5年前開設当初を思い出すと、見る事、やる事すべてが新鮮でした。職員の数も、現在の3分の1の人数で、忙しく走り回っていましたのを思い出します。介護職員も皆未経験者、右も左もわからない若いスタッフがいました。広いフロアに2人だけなのです。物静かで怖い位です。でも少人数ならではのメリットもありました。自動車に乗りスーパーやデパートに買物に行けた事です。外出先では昔の友達にバッタリ会って、それをきっかけにアコモードに遊びに来てくれた事もありました。今では外出する機会も少なくなりましたがまた買物に行き洋服を選びたいものです。

く思います。ようやく、そのキヤンバスにも、色がついてきたように思えます。

アコモードスタート時は、入所ベットが50床、ショートステイが20床、デイサービスセンターという規模でしたが、現在は、皆さんもご存知のとおり、介護保険の導入に伴い、入居者の為にどんなことがで起きのかと、話合いながら手続きぐりで介護をしてきました。何もない所からのスターント、真っ白なキャンバスに、アコモードの色をつけましたようと頑張っていたことを懷します。

浴介護、ヘルパーステーションという新しい事業も展開され、在宅サービスの充実、地域の中のアコモードが定着しつつあります。アコモードの知名度もアップし、ボランティア団体、近隣中学校、小学校、幼稚園児との交流がさかんになってきたのも、特長の一つではないかと思います。これからアコモードについては、入居者にとつての『居心地の良い場所』はもちろのこと、地域の方が、気のふれあいの場として、発展していく様子が、職員一同努力していきたいと考えております。



介護保険は高齢者の自立支援が目的です。家族から離れて仲間と楽しく交流している姿を見ると、今の利用者は協調性と柔軟性を持つていると感じます。それは激動の時代を

今まで家中に閉じ込もつてていた高齢者がデイサービスやデイケアで笑顔を見せてくれると、シヨートステイで久しぶりに元気な姿をみせて顔なじみの人々とあいさつを交わしているのを見る時、そして「ヘルパーさんに来てもらつて人嫌いの妻が明るくなりました。次に来る日を心待ちにしています。」という声を聞く時、ケアマネをしていて良かったなあと嬉しくなります。

ケアマネージャーのひとりごと



経験してきたたくましい世代の生きる力があるからでしょう。

また介護をしている家族の方々にお会いすると、苦労しながらも暖かく見守り頑張っている様子が良くわかります。介護は人ととのつながりであり、手と手の触れ合い、温もりです。これからボランティアを含めたくさんの人々が福祉に携きわって欲しいと思います。



おつちよこちよいで、物覚えの悪い私ですがなんとかここまでこれたのも職場のスタッフの御陰と、お年より、家族の笑顔です。今年は去年よりももう少しケアプランの中味を充実したものにすることが課題です。これからもどうぞよろしく…。



広がる地域の輪 とちぎや

Q 月1回の移動売店。お年寄りの反応は?

A 大勢の方と接するのは初めて。お菓子を楽しみにしてくれていて車イスできれいに整列してくれるのは驚きました。とても良い雰囲気ですね。

Q 従業員の方々の反応は?

A 喜ぶ顔が見れると人氣。その日は当番制にする程です。

Q 近所のお年寄りなどの為にサービスがあるそうです。が、具体的に教えて下さい。

A 5店宅配ネットワーク

A 大型店とは違ったきめ細かなサービスを同じ福祉の気持ちで提供してゆきたいです。

Q 将来の展望は?

A 売店のお菓子と共に真心もくれるとちぎやさん。ありがとうございました。

Q 月19日 永井豊和さん (特養介護職) 友美さん(旧姓小林) (元厨房職員)

5月26日 渡辺 豊さん (生活相談員) 加恵さん(旧姓寺山) (管理栄養士)

おめでとう

もう5年、やつと5年。嫌なこと、辛いこと、たくさんありました。今後も色々あることと思います。

5年も経つとはや甘えは許されません。でもきっと丈夫です。職員一丸となり、乗り越えていきます。

皆様のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願ひいたします。